

第2学年 組 音楽科指導と評価の案

日時 : 平成16年12月3日(金)公開3
 場所 : 2年組教室
 授業者 : 押井 香織

1. 題材名 いい音さがして 教材名 『山のポルカ』
 2. 本時の目標 仲間の動きをよく見て、4分休符や8分休符をきちんと休んで、自分が入る出だしのリズムを合わせて遅れず入り、バッテリー奏をすることができる。
 3. 本時の評価規準 リズムの出だしをぴったり合わせて、遅れず入り、4分休符や8分休符をきちんと休んで、バッテリー奏をすることができる。(表現の技能)
 4. 本時の展開 (12/14)

過程	学 習 活 動	学習 集団	子どものつまずきに応じた指導・援助	
導入	<ul style="list-style-type: none"> はじめましょう 遊びましょう <ul style="list-style-type: none"> まねっこごっこでリズム遊びをする。 合わせましょう <ul style="list-style-type: none"> 「山のポルカ」を鍵盤ハーモニカでお互いの音を聴きながら、交互奏する。 歌いましょう <ul style="list-style-type: none"> 「山のポルカ」をリズムに合わせて歌う。 本時のめあてを持つ。 	全体	つまずきの様相 お互いの音を聴きながら演奏することができない。(活動の様子から)	指導・援助 拍を打ったり、出だしを合図し、入るタイミングを合わせたりする。
		つかむ	リズムにのって歌うことができない。(活動の様子から)	リズムにのって歌っている仲間を紹介する。 曲に合わせて、指揮をしてみよう。 曲に合わせて、手拍子を打ってみよう。
ふかめる	課題 リズムをぴったり合わせて、バッテリー奏しよう。	個人	入るタイミングが判らない。(ペア練習の様子から)	友だちに手拍子で、拍子をとってもらおう。
		ペア	リズムを合わせて演奏することができない。(ペア練習の様子から)	友だちに歌を一緒に歌ってもらいながら、リズムを打つ。
たしかめる	<ul style="list-style-type: none"> 練習しましょう <ul style="list-style-type: none"> 歌に合わせて手拍子をしながら、正しくリズムが打てるか練習する。 歌に合わせて正しく2拍子のリズムが打てるようにする。(自分の席で) 2拍子のリズムが打てるようになったら、ペアと手拍子でリズムをぴったり合わせて、バッテリー奏をすることができるようにする。(ステージコーナー1で) 中間研究会 <ul style="list-style-type: none"> 「山のポルカ」をペアとリズムをぴったり合わせてバッテリー奏している仲間の演奏を聴く。 仲間の演奏聴いて、よかったところや、練習方法の工夫点を見つけ、後半の練習に生かせるようにする。 休符のところで、膝を曲げて、きちんと休みをとっていたよ。 出だしがそろろうように、合図をしていたよ。 リズムがぴったりそろろうように、向かい合って相手の動きを見ながら出だしのタイミングを合わせていたよ。	全体	仲間の練習方法の工夫点を見つけることができない。(中間研究会の話し合いの様子から)	なぜリズムをぴったり合わせて演奏できるようになったのか演奏した仲間へ聞く。 お休み(休符)の取り方はどうだったかな? 出だしはそろっていたかな?
		全体	出だしをそろえることができない。休符を正しくとることができない。(ペア練習の様子から)	出だしの入るタイミングを合図する。休符のところで膝を曲げ、休符を感じ取れるようにする。
	<ul style="list-style-type: none"> ミニミニ発表会 <ul style="list-style-type: none"> 友だちの演奏を聴いてよかったところを見つける。 自己評価 教師の評価 終わりました 	全体	聴くときの観点(休符の休みのとりかたや、出だしの合わせ方や、仲間の動き)を具体的に示し、仲間の意見や感想の中で参考にできるものを取り上げる。	
		個人	仲間の演奏のよい点が見つけれない。(ミニミニ発表会の話し合いの様子から)	
		全体		